

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

学校法人昭和大学（証券コード： - ）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

A A
安定的

■ 格付事由

- (1) 1928 年設立の昭和医学専門学校を起源とし、「至誠一貫」を建学の精神とする。中核の昭和大学は医学部、歯学部、薬学部および保健医療学部の 4 学部で構成される医系総合大学である。富士吉田キャンパスでの初年次全寮制教育などに特色があり、総学生数は約 3,700 名。教育施設として、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院など計 8 病院、約 3,000 床を運営、全病床数、医療収入は私学トップクラスに入る。
- (2) 診療報酬制度下にある医療機関を持つ本学は、帰属収入の約 8 割を医療収入が占め、一般の大学法人に比べ収支の変動幅がやや大きいと考える。しかし、大学病院としての充実した医療機能、人材配置を強みに病院部門は強固な事業基盤を構築している。また、各学部の志願動向はおおむね良好、法人全体での収支尻は安定している。財務面では、臨床実習施設の拡充を目的に積極的な病院展開を進めてきたことから、基本財産の維持・更新に向けた資金の充足度は高くない。ただ、長期計画を策定し、優先順位を付けた施設整備を進めており、今後も財務リスクを抑えた展開が想定できると判断する。こうした点を総合的に勘案し、本学の格付を「AA」とし、見通しを安定的とした。
- (3) 学費の引き下げもあって医学部は志願者数を大きく伸ばしているほか、就職実績が良好な薬学部、保健医療学部の志願動向も安定している。歯学部の志願倍率はやや低いが、歯科系私大の中での学生獲得力は強い。富士吉田キャンパスでの初年次全寮制や学部連携病院実習を始めとする独自の「チーム医療」教育、看護師などの教育職員の附属病院への配置といった特色ある教育体制が、学生獲得力の源泉と考える。ただ、こうした本学の特色の学外への周知はまだ十分とはいえず、効果的な広報活動などを通じた発信力の強化は課題となろう。研究面では競争的研究資金を毎年獲得、科研費の採択状況も医系私大の中では高位にあるが、採択実績を一段と引き上げていく余地も残している。
- (4) 本学の大学病院は高い医療機能と人材基盤の厚みを有し、各医療圏における事業基盤は極めて堅固である。近年の診療報酬改定では急性期医療や手術料への資源配賦が行われてきたこともあり、収支の大幅な改善が確認できる。今後、14 年 3 月に予定する江東豊洲病院の立ち上げや実質マイナスとなる 14 年度診療報酬改定の影響を受け、一時的に収支尻は低位に推移するものの、現状の主力病院の収益水準や事業基盤を勘案すれば、中長期的には吸収可能なリスクであり、病院部門全体でみた収支は安定した推移が見込めると想定する。
- (5) 医系大学の財務運営は、教育機関としての基本財産の維持・更新を前提に置きつつ、医療機関として多額の初期投資や診療報酬制度の変化に対応していくことが必要と JCR は考えている。本学の場合、過去の病院開設に伴う資金負担がやや重いが、法人執行部の適切な合意形成の下で財務健全性を意識した投資が進められている。今後予定されている旗の台キャンパスや既存病院施設の更新投資計画は長期にわたるものであり、財務基盤が急速に悪化する懸念は少ない。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

■ 格付対象

発行体：学校法人昭和大学

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2014 年 3 月 13 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：吉田 法男
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp>）の「格付方針等」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp>）の「格付方針等」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2012 年 8 月 28 日）、「学校法人等の信用格付方法」（2010 年 9 月 6 日）、「医療機関の信用格付方法」（2010 年 9 月 6 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 学校法人昭和大学
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル